

## 2017年度第2回セミナー・講事メモ

By 県立大学伊藤研究室 伊藤寛晃

1、日時： 2017年5月23日（火）18：00～20：00

2、場所： 富山県立大学 環境工学科棟 I-318

3、講師： 川崎一朗 先生

4、テーマ： 活断層と段丘  
富山の縄文時代・弥生時代

5、参加人数： 11名

### 6、報告内容

#### (1)活断層と段丘面

大阪・奈良・京都域では、大阪層群、上町断層、生駒断層、奈良盆地、京都盆地、西山断層、桃山断層、琵琶湖西岸断層あり。

西山断層と桃山断層で地震が起きるたび京都駅付近は沈降し、琵琶湖西岸断層で地震が起こるたびに隆起。

おおよそ2万年前は間氷期の後に急激に気温が上昇。

#### (2)富山の縄文時代・弥生時代

40万年～30万年前 呉羽山礫層の上層は氷河期の海水面当たりの高さ。

炭素同位体により年代決定にずれ。

縄文時代、弥生時代はもっと古いものだと判明。

(以下編者が記；

縄文は1.6万年前から始まり、終わりは地域により異なり、1万年前から紀元前数百年という。弥生は紀元前300年から紀元後300年ほどといわれている。 )